

四半世紀迎えた
「Tシャツアート展」

5月3日から8日の6日間、黒潮町入野の浜で25回目となる「Tシャツアート展」が行われました。

今年、応募作品868枚に看板Tシャツなどを加えた約930枚を展示。期間中は天候に恵まれ、6日間で1万7000人が来場しました（前年比4000人増）。

また、町内各地での展示や、砂像体験、砂浜ウエディングなど、今年初めて取り組んだイベントも。

平成元年8月に始まった砂浜美術館のTシャツアート展は、四半世紀を迎えてもお新たな魅力を発信し続けています。



今年から車いすでも入場可に



キャンドルの灯りゆらゆら



今年の審査員は宮川大助さん



芝生ステージでフラダンス



気分は「砂の芸術家」!



地元中学生もボランティア



砂浜でモンゴルの馬頭琴



朝日とTシャツアート展



ビーサン飛ばし大会表彰式

右：上・坂折地区。左：上・Tボラの宿泊先「であいの里蜷川」。下：2枚・大方橋川地区。



町内各地で「ひらひら」
 今年は、Tシャツアート展の開催期間に合わせて、町内3カ所でもTシャツを展示しました。作品は昨年の「地区の宝Tシャツ」。

坂折地区の「カツオと鯉のほりの川渡し」や蜷川地区の「蜷川モーターニング」など、既存イベント会場や施設に展示したほか、大方橋川地区では、5月6日に一日だけ、10食限定の「橋川ランチ」を初の試みとして実施。

Tシャツひらひらの風景は、それぞれ土地に溶け込み、お客さんを楽しませていました。

町内各地で「ひらひら」

砂浜でウエディング



砂浜の特設結婚会場。Tシャツもお二人を祝福。

5月7日、入野の浜で結婚式が行われました。入籍はしたけれど結婚式を挙げていない夫婦に、黒潮町にちなんだ9640円で挙式をプレゼントしようとうエディングプランナー「りぼん・ロベスト」が発案、砂浜美術館と共催したものです。

選考で選ばれたのは若米利宣さん（東京都出身）と梨詠さん（黒潮町出身）の結婚10年のご夫婦。3人のお子さんや親族、観光客に見守られながら、Tシャツに書かれた結婚誓約書に署名しました。

また、砂浜美術館のニタリクジラ館長と黒潮町長連名の結婚証明書を大西町長が贈呈し、ふるさと婚をお祝いしました。

「砂の彫刻国内選手権大会」で黒潮町砂像連盟が優勝！

Tシャツアート展会場で砂像体験やピーサン飛ばし大会の看板作りに奮闘した「黒潮町砂像連盟」。4月末に鹿児島県南さつま市加世田で行われた「2013吹上浜砂の祭典・砂の彫刻国内選手権大会」に2チーム出場し、みごと優勝に輝きました（もう1チームは惜しくも4位）。大方町時代から通算3回目の優勝。

7月7日のイベントでも砂像が見られますのでご注目ください。【関連記事23ページ】



今年のテーマは「どうぶつ砂図鑑」で、優勝チームは「のどかな農村の午後」というタイトルで豚の親子を制作。砂とは思えない柔らかな質感は長年の経験のたまものです。

ボランティアスタッフの声



- 計良愛美さん（埼玉県） ※前列左から2人目
 「姉・兄がTボラ経験者で、私で4人兄弟全員が参加しました。黒潮町の皆さんの温かい和の中に入って幸せな10日間を過ごさせてもらいました。必ずまた戻ってきます！」
- 伊藤由佳子さん（愛媛県） ※同3人目
 「きれいな海と砂浜とアートに感動し、人の温かさを感じました。地元の食材を使ったおいしい手料理最高でした！また来ます！」
- 大塚多映子さん（和歌山県） ※同4人目
 「波の音をBGMに、たくさんの面白くて優しい町の人たちに囲まれて、いっぱい元気とやる気をいただいた10日間でした。」